

平成 22 年 3 月 8 日

厚生労働省 医政局 医事課  
試験免許室長 横田 章 様

社団法人日本作業療法士協会  
会 長 中 村 春 基



## 第45回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃（社）日本作業療法士協会の活動につきまして、ご支援ご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、2月28日に実施されました第45回理学療法士及び作業療法士国家試験問題につきまして、全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- （1）全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- （2）当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- （3）国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について、再度検討をしていただきたく下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい7つの問題（午前5問題、午後2問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記致しました。

謹 白

### 記

- I 複数の解が選択できると思われる5問題（午前39、52、79、午後77、91）、提示された選択肢からは解を選択する判断ができない2問題（午前84、94）を国家試験として適切でないと考える（別添資料参照）
- II その他の意見  
用語や設問の表現等が不適切であり、選択肢の理解に戸惑う要因となっていた5問題（午前12、57、午後2、5、62）、消去法や優先順位等から解は選べるものの、他の選択肢も該当する可能性のある6問題（午前11、60、午後26、33、40、41）、および図や写真の情報からは判断が難しい2問題（午後2、5）があると考えます。

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午前 問題

問題番号 ( 39 )

39 認知症で前頭側頭型に特徴的な行動はどれか。

1. 散歩に出かけて道に迷う。
2. 人前で見知らぬ異性に抱きつく。
3. ささいなことで怒りっぽくなる。
4. 洗濯物をきれいにたためなくなる。
5. 鏡に映った自分の姿に向かって話しかける。

解：2, 3 (複数の解が選択できる)

#### 理由

認知症の前頭側頭型における特徴的な行動として欲動的脱抑制<sup>2, 5)</sup>, 易怒<sup>1~3)</sup>, 性的放縦<sup>4)</sup>, 衝動行為<sup>4)</sup> 反社会的行為<sup>4)</sup>, 道徳感情鈍麻<sup>4)</sup>, 人格変化<sup>4, 5)</sup>がある。

以上のことから2, 3の複数の回答選択が可能となるため適切ではない問題と考えられる。

#### 参考とする文献

- 1) 山田晴保 編：認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント. 協同医書出版, p212, 2005.
- 2) 池田学：前頭葉側頭葉型認知症の臨床. 中山書店, p57, 2010.
- 3) 大月三郎：精神医学 第5版. 文光堂, p148, 2003.
- 4) 大熊輝雄：現代臨床精神医学 改訂版9版. 金原出版, p181, 2003.
- 5) 石井純夫：高次脳機能障害学. 医歯薬出版, P191, 2004.

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午前 問題

問題番号 ( 52 )

52 筋と付着部との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- |           |   |       |
|-----------|---|-------|
| 1. 縫工筋    | — | 上前腸骨棘 |
| 2. 中殿筋    | — | 腸骨稜   |
| 3. 長内転筋   | — | 恥骨結節  |
| 4. 大腿直筋   | — | 坐骨結節  |
| 5. 大腿筋膜張筋 | — | 下前腸骨棘 |

解：1, 2, 3 (複数の解が選択できる)

#### 理由

下記文献より, 選択肢1. 縫工筋, 2. 中殿筋, 3. 長内転筋の付着部は正しく, 正解は1, 2, 3となり複数回答となるため適切でない問題と考えられる。

#### 参考とする文献

- 1) 越智淳二 訳：分冊 解剖学アトラス1. 文光堂, p232, 244, 1996.
- 2) 森於菟 他：分担解剖学1. 金原出版, p380, p391-392, 1998.
- 3) 金子丑之助：日本人体解剖学. 南山堂, p342, p349, 357, 2004.
- 4) 野村巖：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第1版. 医学書院, p245-247, 2003.

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午前 問題

問題番号 ( 79 )

79 患者が治療者に不満を抱き、沈黙を続けているときの防衛機制はどれか。

1. 抑 圧
2. 否 認
3. 解 離
4. 行動化
5. 反動形成

解：1, 4 (複数の解が選択できる)

#### 理由

設問の「患者が治療者に不満を抱き」という箇所から、患者が不満を意識しているとも読みとることができるため、防衛機制の定義である「無意識」を読みとることが難しい。

また、設問の状況が無意識に行われているならば「抑圧」、沈黙という行動によって対処しているならば「行動化」が解答となり、複数の解答が選択できる。なお、「行動化」を防衛機制として扱う文献は少数(下記参照)であり、適切な選択肢とは言い難い。

したがって、適切でないと考えられる。

#### 参考とする文献

- 1) 野村総一郎, 樋口輝彦 編：標準精神医学 第2版. 医学書院, p140, 2001.
- 2) 中島義明 編：心理学辞典. 有斐閣, p255, 723, 866, 2005

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午前 問題

問題番号 ( 84 )

84 一側性の脳損傷による顔面神経麻痺で障害をきたすのはどれか。2つ選べ。

1. 前頭筋
2. 眼輪筋
3. 口輪筋
4. 側頭筋
5. 咬筋

解：3 (提示された選択肢からは解を選択する判断ができない)

#### 理由

顔面神経支配の筋は1, 2, 3である。選択肢1と選択肢2は脳皮質の両側支配を受ける<sup>1~3)</sup>ので、一側性の核上性麻痺では麻痺が見られないため、選択肢3のみ麻痺が出現する。

したがって、解は3のみで、2つ選択することはできない。

#### 参考とする文献

- 1) 奈良勲・鎌倉矩子監修：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 (第2版)。医学書院, p370, 2004.
- 2) 杉浦和朗：イラストによる中枢神経系の理解 (第3版)。医歯薬出版, p110, 1998.
- 3) 井出千束 他訳：フィッツジェラルド神経解剖学。西村書店, p180, 2001.

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午前 問題

問題番号 ( 94 )

94 出血の症状で正しいのはどれか。

1. 少量の咯血は致命的にならない。
2. 上部消化管出血はコーヒー残渣様の吐物となる。
3. 下部消化管出血は黒色軟便となる。
4. 下部消化管出血は大量出血となる。
5. 内痔核からの出血は光沢のある暗赤色の便となる。

解なし (提示された選択肢からは解を選択する判断ができない)

#### 理由

下記文献より, 選択肢3, 4, 5は明らかに除外可能。選択肢1は少量の咯血は大咯血の前兆となる可能性があるという記述があり「致命的にならない」とは断定できない。選択肢2は上部消化管出血の際胃内の吐物ではコーヒー残渣様となり食道などの出血は潜血となる。したがって、提示された選択肢からは解を選択する判断ができない。

#### 参考とする文献

- 1) 渡辺純夫 他: 症状から診る内科疾患. メジカルビュー, p248-251, 261-262, 2005.
- 2) 奈良勲・鎌倉矩子 監修: 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学(第2版). 医学書院, p143, 2004.
- 3) 最新医学大辞典編集委員会 編: 最新医学大辞典. 医歯薬出版, p844, 2005.

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午後 問題

問題番号 ( 77 )

77 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 肺気腫では肺胞の破壊を特徴とする。
4. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。
5. 酸素取り込みよりも二酸化炭素排出が阻害されやすい。

解：1, 3, 5 (複数の解が選択できる)

#### 理由

慢性閉塞性肺疾患の特徴として、選択肢1と選択肢3については、文献に記載されている。 選択肢5についても進行するとPaCO<sub>2</sub>が上昇することや呼気が障害されるという特徴から考えると選択肢5も正解となり複数解答となるため適切でない問題と考えられる。

#### 参考とする文献

- 1) 奈良勲・鎌倉矯子監修：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 (第2版) . 医学書院. p108-109. 2007.
- 2) 黒川幸雄他編：理学療法 MOOK4 呼吸理学療法. 三輪書店. p263. 1999.
- 3) 山崎裕司、川俣幹雄他編：シンプル理学療法学シリーズ 内部障害理学療法学テキスト. 南江堂. p147. 2008

## 第 45 回作業療法士国家試験問題

### 採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成 22 年 2 月 28 日実施)

午後 問題

問題番号 ( 91 )

91 障害によって翼状肩甲をきたすのはどれか。

1. 肩甲上神経
2. 肩甲背神経
3. 肩甲下神経
4. 長胸神経
5. 内側胸筋神経

解：2, 4 (複数の解が選択できる)

#### 理由

文献1～3より、肩甲背神経は菱形筋・肩甲挙筋に分布し、長胸神経は前鋸筋に分布する。これらの筋が麻痺することで翼状肩甲が認められる。

この設問では、複数解答となるため適切ではない問題と考えられる。

#### 参考とする文献

- 1) 川平和美 編：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第2版. 医学書院, p238, 2003.
- 2) 長島聖司 訳：分冊解剖アトラス. 文光堂, p144, 2004.
- 3) 嶋田智明 監訳：カパンディ 関節の生理学 I 上肢. 医歯薬出版, p56, 58, 1995.